

平成24年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査） 小学校4年 算数 出題のねらい等

連番	大問	中問	領域及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観 点				主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
						算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解		
①	1	(1)	数と計算 4年	A(5)イ 小数の減法	1／100の位までの小数の減法の計算をすることができること。			○		○	
②		(2)	数と計算 4年	A(3)ア 3位数÷1位数の除法	3位数÷1位数のあまりのある除法の計算をすることができること。			○		○	
③		(3)	数と計算 4年	A(4) 桁数の多い計算	3位数×3位数の乗法の計算をすることができること。			○		○	
④	2	(1)	量と測定 4年	B(2)イ 角の大きさ	三角定規の角の大きさについて理解していること。				○	○	
⑤		(2)	量と測定 4年	B(2)イ 角の大きさ	1組の三角定規の角を組み合わせてできる角の大きさを調べようとしていること。	○				○	
⑥	3	(1)	量と測定 3年	B(1)ア 長さの単位の表し方	1／100の位の数で表されたkmの長さを、m単位で表すことについて理解していること。				○	○	
⑦		(2)	図形 3年	C(1)ウ コンパスの活用	コンパスを使って、長さを測り取ることができること。			○		○	
⑧		(3)	数と計算 4年	A(4) 桁数の多い計算	4位数×2位数の筆算のしかたの説明を考えることができること。		○				○
⑨		(4)	数と計算 4年	A(1)ア 億の数の表し方	大きな数を数字で表すことについて理解していること。				○	○	
⑩		(5)	量と測定 4年	B(2)イ 角の大きさ	直角は90度であることをもとに、時計の文字盤における45分間の角度を考えることができること。		○				○
⑪	4	(1)	数と計算 4年	A(3)イ 除法の計算を用いること	示された式を読み、その式に応じた考え方を考えることができること。		○				○
⑫		(2)	数と計算 4年	A(3)イ 除法の計算を用いること	示された考え方に応じて、具体的場面を式に表し、答えが適切に求められない理由を考えることができること。		○				○
⑬		(3)	数と計算 4年	A(3)イ 除法の計算を用いること	場面に応じて、計算の仕方を考えたり、適切な求め方を考えたりすることができること。		○				○
⑭	5	(1)	数量関係 4年	D(1)ア 折れ線グラフの表し方	与えられた表を基に、変化の様子を折れ線グラフに表すことができること。			○		○	
⑮		(2)	数量関係 4年	D(1)ア 折れ線グラフの読みとり方	折れ線グラフの特徴を理解していること。				○	○	
⑯		(3)	数量関係 4年	D(1)ア 折れ線グラフの読みとり方	2つの折れ線グラフから、変化の特徴を読み取ろうとしていること。	○				○	
⑰	6	(1)	図形 3年	C(1)ウ 円と球	円の半径の長さについて理解していること。				○	○	
⑱		(2)	図形 3年	C(1)ア 二等辺三角形	二等辺三角形について理解していること。				○	○	
⑲		(2)	図形 3年	C(1)ア 二等辺三角形をつくること	三角形の2つの辺の長さが円の半径であることをもとに、二等辺三角形ができるわけを考えることができること。		○				○
⑳		(3)	図形 3年	C(1)ア 正三角形	正三角形を円の中に隙間なく敷き詰めたときの数を考えることができること。		○				○